

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	でいさーびす あいりんご		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日	～	令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 40人	(回答者数)	31人
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日	～	令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8人	(回答者数)	8人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	土曜日や祝日、長期休暇中には外出活動や体験活動を積極的に取り入れ、子どもたちが様々な経験を通して社会性や生活力を育む機会を提供しています。安全面に十分配慮しながら、楽しさと学びを両立した活動内容となるよう職員間で検討を重ねています。	外出活動では年齢や特性に応じたグループ分けを行い、友達同士の関係づくりや年上児が年下児をサポートする機会を設けています。また、事前に活動内容の確認や役割分担を行い、安心して参加できる環境づくりを行っています。	地域施設や他事業所との交流活動を取り入れ、社会経験の幅を広げる機会を増やしていきたいと考えています。
2	法人内の複数事業所と連携したイベントや活動を通して、子どもたち同士の交流の場を広げることができています。競い合いや協力を通して達成感を感じる機会を設けています。	イベントに向けた練習期間を設けることで目標に向けて取り組む姿勢を育て、買い物体験等を取り入れ、金銭管理や社会ルールについて学ぶ機会も提供しています。	保護者参加型の行事や発表の機会を増やし、子どもたちの成長や頑張りを直接見ていただける場を作りたいと考えています。
3	関連事業所との連携により、放課後等デイサービスだけでなく居宅介護や短期入所等のサービスについても相談ができる体制が整っており、家庭状況に応じた総合的な支援を行っています。	ご家族からの相談に対して、法人内サービスと連携しながら必要な支援に繋げる体制を整えています。	職員研修を継続し、専門性の向上を図ることで、より質の高い支援体制の構築を進めていきたいと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会がまだ十分とは言えず、児童クラブや地域団体との関わりが限られている。	活動計画の多くが事業所内または外出活動中心となっており、地域と連携した活動を計画する機会が少なかった。	地域清掃や地域行事への参加、地域住民との交流イベント等を取り入れ、地域とのつながりを強化していく。
2	保護者同士の交流の場やペアレントトレーニングの機会が十分に設けられていない。	保護者の就労状況や家庭の事情により、全家庭が参加できる時間帯を設定することが難しい。	保護者懇談会や情報交換の場を複数の時間帯で実施する等、参加しやすい形での交流機会の検討を進める。
3	職員間の経験や知識の差により、支援の質に差が生じる可能性がある。	経験年数や資格の違いにより、支援方法や判断力に差が生じている。	法人研修や内部研修を継続的に実施し、職員間の知識共有を図るとともに、個々の職員の強みを活かした役割分担を行う。

事業所名 ていさびす あいりんご

公表日 令和8年 3月 28日

利用児童数 40人

回収数 31人

	チェック項目	回答割合				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	94%	0%	0%	6%	活動スペースは十分確保されており、子ども達が安全に過ごせていると感じている。連絡帳でみる写真でも狭いと感じない。	今後も活動内容や人数に応じたスペースの確保を行い、安全に活動できる環境づくりを継続してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	84%	0%	0%	16%	職員の方がよく見守ってくださっており、安心して子どもを預けることができている。	引き続き安全管理を徹底し、事故防止に向けた職員間の情報共有やミーティングを継続してまいります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	88%	6%	0%	6%	設備や環境について配慮されていると感じます。玄関のスロープなどもあり、利用しやすい環境だと思ふ。	今後も利用児童の特性に応じた環境整備を行い、必要に応じてバリアフリー化などの改善を検討してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	78%	10%	0%	12%	以前より整理整頓がされているが、お迎え時にロッカーが乱れている場面も見られる。	定期的な清掃や環境点検を行い、子ども達が安心して過ごせる生活環境の維持に努めてまいります。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	91%	3%	0%	6%	専門職の方の支援もあり、子どもの特性に合わせた関わりをしていただいていると感じる。	今後も専門職の意見を取り入れながら、一人ひとりに合わせた支援を提供してまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	81%	3%	0%	16%	支援プログラムの内容も活動と合っており、子どもが楽しみながら取り組んでいる。	引き続き支援内容と活動プログラムの整合性を確認しながら支援を行ってまいります。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	88%	0%	0%	12%	作成していただいたもの確認して再度修正してくれたりと意見を取り入れてくれているのが分かる。	今後もご家族様とご相談させていただいたうえで作成させていただきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	88%	0%	0%	12%	計画書の内容について説明があり、支援内容が分かりやすかった。	引き続き保護者の方に分かりやすい形で計画内容の説明を行ってまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	88%	3%	0%	9%	日々の様子を伝えていただけるので、どのような支援が行われているのかが分かり安心できる。	今後も連絡帳や送迎時などを通して支援の様子をお伝えしてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	97%	0%	0%	3%	季節のイベントや様々な活動があり、子どもが楽しみにしている。	活動内容の幅を広げながら、子ども達が楽しめるプログラムを継続してまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	53%	19%	6%	22%	よく分からないが地域の公民館との交流や、清掃活動を一度行ったと子どもから聞いた。	放課後等デイサービスや地域の方との交流もより深められるよう交流の機会を検討してまいります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	94%	6%	0%	0%	契約時や利用開始時に丁寧に説明していただいた。	今後も分かりやすい説明を心掛けてまいります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	91%	6%	0%	3%	計画書をもとに説明していただき、支援内容が理解しやすかった。	引き続き丁寧な説明を行ってまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	43%	19%	19%	19%	家族参加の研修会があるのかは聞いた事がない。	ご家族様も参加するような研修会は設けておりませんがモニタリング時や日々の送迎時に情報提供や、共有してまいります。
保護者への説明等	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができてきていると思いますか。	91%	9%	0%	0%	送迎時や連絡帳などで子どもの様子を共有してくれている。	今後も情報共有を大切に、共通理解を図ってまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	82%	9%	6%	3%	定期的な面談はないが何か相談した際は対応してくれている。	今後も日々の送迎時や相談の機会を大切にしております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	94%	6%	0%	0%	子どもの気持ちを理解しながら関わってくださっていると感じている。	今後も子どもや保護者の気持ちに寄り添った支援を行ってまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	47%	12%	16%	25%	保護者同士やきょうだい同士が交流できる機会については十分に把握できていない部分があり、機会があるのか分りにくく感じる面もある。今後、保護者同士の情報交換やきょうだいも参加できる行事などがあると良いと感じる。	保護者同士の交流やきょうだいも参加できる機会については、行事や企画を検討するとともに、実施の際には事前に周知を行い、参加しやすい環境づくりに努めてまいります。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	82%	3%	6%	9%	相談や申入れについては対応してもらえ体制があると感じているが、相談できる内容や窓口については十分に知られていない部分もあると感じる。	今後も相談しやすい環境づくりを大切にしながら、相談窓口や対応体制について保護者の皆様へ改めて周知し、迅速かつ丁寧な対応に努めてまいります。
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	94%	3%	0%	3%	職員との連絡や情報共有は概ね行われているが、活動内容や日々の様子についてもう少し詳しく知りたいと感じる場面もある。	連絡帳や送迎時のやり取り等を通して、活動内容や子どもたちの様子を分かりやすくお伝えできるよう努め、保護者の皆様との円滑な情報共有を継続してまいります。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	91%	0%	0%	9%	毎月子どもとSNSのは発信を楽しみにしている。定期的に様子を見れるので安心している。	ホームページやSNS等を活用し、活動の様子や行事予定などを定期的に発信するとともに、保護者の皆様が確認しやすい形で情報提供を継続してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	91%	3%	0%	6%	個人情報の取り扱いについては適切に管理されている印象である。	個人情報の管理については引き続き厳重な管理を行うとともに、必要に応じて保護者の皆様へ管理体制の説明を行い、安心してご利用いただける環境づくりに努めてまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	85%	3%	0%	12%	感染症対策や安全対策について説明を受けているが、具体的な訓練や取り組み内容については十分に把握できていない部分もある。	事故防止や感染症対策等の各種マニュアルについて定期的に見直しを行うとともに、訓練や取り組み内容についても保護者の皆様へ分かりやすく周知してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	85%	3%	0%	12%	避難訓練で習ったことや、消防署での講義を受ける機会がありしっかり行えていると思う。	非常災害を想定した避難訓練等を定期的に実施するとともに、その内容や様子についても通信等を通じて保護者の皆様へお伝えしてまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	94%	3%	0%	3%	安全面については配慮されていると感じている。	安全管理については引き続き安全第一で支援を行うとともに、状況に応じた判断や対応について保護者の皆様へ丁寧に説明できるよう努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	91%	3%	0%	6%	怪我等があった際の報告は受けているが、どのような対応が行われているのかをより詳しく知りたいと感じる場合もある。	事故や怪我等が発生した際には速やかな報告と説明を行うとともに、再発防止に向けた取り組みについても職員間で共有し、安全管理の徹底を図ってまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	子どもは安心して通所しており、活動を楽しみにしている様子が見られる。	今後も子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを大切にしながら、安全で楽しい活動を継続して提供してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%	活動内容が充実しており、予定表を見ながら通所を楽しみにしている様子がある。	今後も様々な体験や活動を通して子どもたちが楽しみながら成長できるよう、活動内容の充実を図ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	97%	0%	0%	3%	支援内容や活動について概ね満足しており、子どもが楽しんで通所している様子が見られる。	今後も安心・安全を第一に、子どもたちが楽しみながら成長できる支援を心掛け、より満足していただける事業所運営に努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 ていさーびす あいりんご

公表日 令和8年 3月 28日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	活動内容や人数に応じてスペース配置を調整し、安全に活動できる環境づくりを行っている。	集団活動時の運動スペース確保のため、活動方法やチーム分けの工夫が必要である。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	88%	12%	児童の人数や特性に応じて職員配置を確認し、役割分担を明確にして支援を行っている。	児童の状況に応じた柔軟な配置調整をさらに行う必要がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	100%	0%	施設内の導線や設備を整え、児童が活動しやすい環境づくりを行っている。	来所から活動までの流れをよりスムーズにするため環境配置の見直しが必要である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	88%	12%	定期的な清掃や環境整備を行い、清潔で安心できる生活空間を維持している。	共用スペースの美化について継続的な確認が必要である。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	88%	12%	クールダウンスペースを設け、状況に応じた個別対応ができる環境を整えている。	児童の状況に応じた柔軟な空間活用を継続して検討する必要がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	88%	12%	定期面談やミーティングを通してPDCAサイクルを意識した業務改善を行っている。	目標設定や振り返りの時期をより計画的に設定する必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	12%	保護者評価の内容を職員間で共有し、支援の改善に活かしている。	保護者意見をより具体的な支援改善に結びつけていく必要がある。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々の申し送りやミーティングにより職員の意見共有を行っている。	意見をより業務改善へ反映する仕組みづくりが必要である。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	63%	37%	外部視点の必要性を共有し、評価体制の検討を行っている。	第三者評価の導入について具体的に検討する必要がある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	法人研修や外部研修に参加し、内容を職員間で共有している。	外部研修への参加機会をさらに増やす必要がある。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	支援プログラムを作成し、活動内容を明確にしている。	プログラム内容の継続的な見直しが必要である。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントやモニタリングを基に支援計画を作成している。	専門職の意見をさらに取り入れた計画作成が必要である。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	支援計画作成時に多職種での会議を行い検討している。	より活発な意見交換ができる会議運営が必要である。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援を行っている。	共有方法の改善により理解を深める必要がある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	63%	37%	日々の観察やアセスメントを通して児童の状況把握を行っている。	評価方法の整理と共有を進める必要がある。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	5領域を踏まえた支援計画を作成している。	専門的視点を取り入れた計画の質向上が必要である。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88%	12%	活動プログラムは職員間で話し合いながら立案している。	活動の安全面や目的の共有をさらに強化する必要がある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	季節や児童の興味を取り入れた活動を計画している。	活動内容のバランスを考慮した計画が必要である。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っている。	児童の状況に応じた柔軟な対応を継続する必要がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	支援前の申し送りにより役割や支援内容を確認している。	共有内容の整理を行い支援の質向上を図る必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	88%	12%	翌日の振り返りを通して支援内容の共有を行っている。	当日中の共有体制を検討する必要がある。

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	日々の支援記録を作成し支援の振り返りに活用している。	記録方法の効率化が必要である。
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	88%	12%	定期的なモニタリングにより支援計画の見直しを行っている。	日程調整を早期に行う必要がある。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	88%	12%	基本活動を組み合わせた支援を行っている。	活動目的の共有をさらに深める必要がある。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	88%	12%	自己選択の機会を設け主体性を育てる支援を行っている。	自己決定の機会を増やす工夫が必要である。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	100%	0%	関係機関の会議に参加し情報共有を行っている。	継続した連携体制の維持が必要である。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	12%	関係機関と必要な情報共有を行っている。	医療機関との連携強化が必要である。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校と連絡を取り合い情報共有を行っている。	連絡体制の明確化が必要である。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	88%	12%	必要に応じて以前の支援機関との情報共有を行っている。	連携機会の拡大が必要である。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	88%	12%	進路移行時には支援情報の共有を行っている。	移行支援の体制強化が必要である。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%	児童発達支援センターとの連携について検討している。	具体的な連携体制を構築する必要がある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	63%	37%	イベントを通じて地域との交流機会を設けている。	日常的な地域交流の機会を増やす必要がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%	協議会参加について情報収集を行っている。	参加体制の整備が必要である。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時や連絡帳で保護者との情報共有を行っている。	職員間の情報共有の徹底が必要である。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	保護者相談に応じ助言や情報提供を行っている。	家族向け研修の開催を検討する必要がある。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	88%	12%	契約時に運営規程等の説明を丁寧に行っている。	継続的な説明機会を確保する必要がある。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	支援計画作成時に保護者の意向を確認している。	児童本人の意思確認の機会を増やす必要がある。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	計画説明を行い保護者の同意を得ている。	理解しやすい説明方法を検討する必要がある。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	保護者からの相談に随時対応している。	相談体制の周知を継続する必要がある。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	イベント等で交流機会を設けている。	保護者同士の交流機会を増やす必要がある。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情対応体制を整備し迅速に対応している。	意見を改善に繋げる仕組みの強化が必要である。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	SNSや通信で活動内容を発信している。	情報発信内容の充実が必要である。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報は適切に管理している。	管理体制の継続的確認が必要である。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	児童や保護者に配慮した伝達方法を心掛けている。	職員間での伝達方法の統一が必要である。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	63%	37%	地域参加型イベントを実施している。	地域交流の機会を増やす必要がある。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	88%	12%	各種マニュアルを整備し訓練を実施している。	マニュアルの定期見直しが必要である。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	防災訓練を定期的に実施している。	訓練内容の見直しを継続する必要がある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時に健康状態を確認し共有している。	情報更新の徹底が必要である。
	49	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	88%	12%	アレルギー情報を職員間で共有している。	医療機関との連携確認が必要である
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を基に安全管理を行っている。	安全対策の見直しを継続する必要がある。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	75%	25%	ヒヤリハットを保護者と共有している。	情報伝達方法の改善が必要である。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	ヒヤリハットを作成し再発防止を検討している。	分析と共有の質向上が必要である。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止研修を実施し職員意識の向上を図っている。	継続的な研修実施が必要である。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	身体拘束に関する説明を契約時に行っている。	計画書への適切な記載と周知を継続する必要がある。